

## ひとくち法話 第六回

飛島村・無量寺 川口 賢司

「言葉が聞きたい」

言葉ということはずっと考えて来た。

言葉は光なのだ。目には見えない。

言葉がとどく時、真つ直ぐに自分の中に入つて行く。

同時に私の全体を包む、覆う、抱く。

暖かさ(熱)を感じ、優しい気持ちになる。

言葉は相手の口から発せられて、私の耳に聞こえる。(私の口から出た言葉が私の耳にとどいても)鼓膜をふるわせ、脳を刺激して、こころを向かわせる。

あなたはそこにいる。

私の方を向いて私に語りかけている。

私を思っていてくれるのですね。

私を大切に思い、私を愛してくれる。その安心。その感謝。

言葉は光なのだ。

私と一緒にいてくれる。

いつも、どこにいても――

そんな言葉を探して。

その言葉が聞きたい。

光の言葉を。